

July  
2014

# The Record

vol.656

平成 25 年度事業報告

Music Jacket Gallery 2014 開催



<http://www.riaj.or.jp/lmark/>



## Contents

Monthly News Digest.....	1
特集	
平成 25 年度事業報告.....	3
特報	
Music Jacket Gallery 2014 開催.....	7
千代田区民講座 第 8 回音のサロン開催 今、うわさの高音質ハイレゾ音楽を楽しもう!...	9
「第 11 回東京国際ミュージックマーケット」 開催.....	10
「知的財産推進計画 2014」の策定に関する 意見書を提出.....	11
ACA「第 3 回著作権を守ろう！ ポスターコンクール」作品募集を開始.....	11
ヒットの裏側.....	12
Monthly Production Report.....	13
GOLD DISC.....	14

## 5/7

### IFPI中央理事会開催

5月7日、ドイツ・ベルリンの Universal Music 社会議室において IFPI（国際レコード産業連盟）中央理事会が開催された。

中央理事会は、IFPI フランシス・ムーア会長、メジャーレーベルの代表、インディーズ代表（ヨーロッパ、北米、南米、アジアの4地域の代表）、主要国の IFPI 支部の代表者らによって構成される会議であり、今回は IFPI 事務局を含め 23 名が出席した。当協会からは 齊藤会長の代理で畑理事が出席した。

会議においては、近年欧米を中心に急成長しているサブスクリプション型 ストリーミング音楽配信に焦点をあてながら、今年第 1 四半期の主要国の市場動向や今後の見通しなどについて議論された。また、パッケージとダウンロードの統合チャートにストリーミング配信の実績を合算する際の課題について、大手ストリーミング事業者との検討状況が報告され、今後さらに検討を深めることとなった。

また、EU 加盟諸国の著作権制度の規範である「著作権指令 (Copyright Directive)」について、来年に向けて改定が検討されている状況を受け、レコード産業としての対応方針や今後のロビー活動などが検討された。

当協会からは、「違法ダウンロード罰則規定」の施行 1 年後の効果について、今年 3 月に文化庁が公表した調査研究報告書に基づき説明するとともに、日本における法制度上の課題について当協会の取組み状況を報告した。

また、これまで IFPI の支部がなかった韓国について、韓国レコード協会 (RIAK) からの加盟申請があり、審議

の結果、加盟が承認された。RIAK は、韓国におけるレコード製作者および実演家の放送二次使用料等の徴収・分配を行っている政府指定団体である。

次回は、今年 11 月に東京で開催される予定である。



## 6/4・5

### IFPI国際演奏権委員会開催

6月4日、5日の2日間、イギリス・ロンドンにおいて IFPI 国際演奏権委員会 (Global Performance Rights Committee Meeting) が開催され、当協会著作権・契約部の楠本部長、苅部契約担当課長、江頭部員が出席した。

この会議は、レコード使用料（放送・演奏・ネット配信など）の徴収・分配に関する諸課題を検討する場として毎年開催されており、世界各国のレコード使用料徴収団体や、メジャーレーベルの担当責任者など約 110 名が参加した。

1 日目は、IFPI 事務局から 2013 年の全世界徴収実績と今後の徴収予測が報告された後、適正な使用料水準を確保するための施策が多面的に検討された。続く 2 日目は、使用料徴収実務について、イタリアと南アフリカのレコード使用料管理団体からそれぞれプレゼンテーションが行われた。さらに分配業務の正確性・効率性を担保するための先進的な取組みとして、全世界共通データベース構想の検討状況が報告された。

なお、1 日目の会議終了後は、イギ



リスのレコード使用料管理団体 PPL の創立 80 周年記念レセプションが盛大に開催された。



6/6

## インドネシア議員団が来協

6月6日、ディディ・イラワディ・シャムスディン氏（民主党）を団長とする、インドネシア著作権に関する法制化国会議員団一行が来協した。当協会畑理事の挨拶に続いて、著作権・契約部飛世課長補佐がレコード製作者の権利に関する当協会の集中管理事業や違法音楽配信への取組みについて説明を行った。

シャムスディン団長から謝辞と日本・インドネシア間において著作権の連携強化を図りたいとの意向が述べられたほか、他の議員からも日本の音楽市場や当協会事業について多くの質問が寄せられた。

議員団一行は、今回の来日に際し、

当協会のほか、日本音楽著作権協会（JASRAC）、日本芸能実演家団体協議会・実演家著作隣接権センター（芸団協 CPRA）など複数の団体を訪問し、日本の著作権制度に関する研修および意見交換が行われた。



6/10

## 「STOP!違法ダウンロード 広報委員会」実行委員会開催

6月10日、当協会会議室において「STOP!違法ダウンロード広報委員会」実行委員会が開催された。同委員会は、「私的違法ダウンロードの罰則化」に関する周知・啓発活動のため、2012年9月、当協会はじめ音楽関連7団体により設立されたものである。当日は、平成25年度の事業・収支報告および監査結果ならびに26年度の活動計画案が承認された。

## RIAJ2014年6月度理事会・総会議案

定時総会議案 [6月27日開催]

### ■ 審議事項

1. 平成25年度事業報告書（案）の件
2. 平成25年度決算報告書（案）の件
3. 役員選任の件
4. 常勤役員報酬総額承認の件

第474回理事会（平成26年6月度）議案  
[6月27日開催]

### ■ 審議事項

1. 会長選任の件
2. 副会長選任の件
3. 常勤役員および事務局長選任の件
4. 顧問委嘱の件
5. 委員会体制変更の件
6. 全国有線音楽放送協会との二次使用料協定締結について
7. ケーブルテレビ番組のVOD配信に係る使用料規程化について
8. 「第29回日本ゴールドディスク大賞」の方向性について
9. 今年度の海外展開施策案について

### ■ 報告事項

1. 名義使用申請に関する件  
(1) 日本レコード商業組合「2014『関西歌謡大賞』協賛名義使用依頼
2. 法制委員会関係報告  
(1) NHKとの二次使用料協議状況について  
(2) TUBEFIRE 訴訟経過報告
3. デジタル（旧情報・技術）委員会関係報告  
(1) 配信チャートへの取組み状況について

## シンガポールにおいて第1回“GENKI!! J-POP NIGHT”開催決定

一般財団法人音楽産業・文化振興財団（PROMIC）は、シンガポールにおいて初のイベントとなる“GENKI!! J-POP NIGHT”を開催する。

同イベントは、現地のイベントであるモード・エンタテインメントが共催し、日本のJ-POPアーティストである「でんぱ組.inc」「moumoon」「TarO&JirO」「Mayu Wakisaka」の計4組が出演しパフォーマンスを披露、シンガポールや周辺アジア地域に、J-POPで「GENKI!!」を届けるイベントと位置付けている。

出演者は7月11日にメディアを対象とした記者会見、12日にファンとのミート&グリートなどのプレイベントと13日に開催されるライブイベントのPRを行う。当協会は、本イベントの趣旨に賛同し協賛、後援を行っている。

### 【開催概要】

主催：一般財団法人音楽産業・文化振興財団（PROMIC）  
共催：Mode Entertainment Pte.  
協賛・後援：一般社団法人日本レコード協会

- GENKI!! J-POP MEET & GREET  
日時：2014年7月12日（土）14:00～15:00（現地時刻） 会場：Chinatown Point Outdoor Atrium
- GENKI!! J-POP NIGHT  
日時：2014年7月13日（日）19:30～（現地時刻） 会場：Lee Foundation Theatre, NAFA Campus 3

## ●●●会員社のお知らせ●●●

### ■ 移転

社名：エグジツトチューンズ株式会社  
新住所：105-0001 東京都港区虎ノ門  
1-22-12 SVAX TSビル4F  
電話番号：03-3502-9819  
(移転前から変更なし)

# 平成25年度事業報告

平成25年の市況を振り返ると、音楽パッケージソフト（オーディオレコードおよび音楽ビデオの合計）の年間生産金額が前年比87%の2,705億円に減少し、有料音楽配信の売上金額も、PC・スマートフォン向けシングル・ダウンロードの年間売上金額が前年比122%、サブスクリプションサービスが同518%と大きく成長したものの、フィーチャーフォン向け配信の急速な減少により市場全体では前年比77%の417億円にとどまった。この結果、音楽ソフト（オーディオ+音楽ビデオ）の生産金額と有料音楽配信売上の合計は3,121億円となり、好調だった前年の85%の規模に減少した。

平成25年度、当協会は、4月1日に違法対策の専任組織として「著作権保護・促進センター（CPPC）」を設置し、違法配信対策の大幅な強化に取り組んだ。また8項目の重点施策（①「違法音楽配信の撲滅」、②「需要拡大施策の展開」、③「レコード製作者の権利収入の拡大と適正な分配」、④「レコード製作者の権利の確保、強化」、⑤「シェアードサービスの拡大」、⑥「著作権教育・啓発活動の充実」、⑦「シンクタンク機能の充実」および⑧「音楽文化の維持、発展のための施策」）を中心に以下の事業を推進した。

## 事業活動

### [1] レコードの普及に関すること

#### 1. 音楽CD再販制度の維持

- (1) 会員各社の再販弾力運用の取組みを報告書に取りまとめ、3月に公正取引委員会へ提出し、当協会ホームページで公表した。
- (2) ユーザーサービスの一環として実施しているインターネット廃盤セールを、1月8日から1月22日の間実施した。

#### 2. レコードの需要拡大施策の展開

- (1) 大人の音楽キャンペーンの実施  
CDショップ店頭キャンペーンを7月23日から9月30日の期間、80年代・90年代のオリジナル・アルバムをテーマに74タイトルで展開した。4月から9月にはテレビ東京にて関連番組「ザ・ミュージック」が放送され、8月25日には同局番組「ヒットの秘密」で本キャンペーンが特集で取り上げられた。
- (2) 高音質/高品質discの普及促進  
音楽物Blu-ray Disc 917タイトルを掲載した「Blu-ray Disc “Music” Catalog」を10万部作成し、年末商戦期に合わせ販売店へ配布した。
- (3) CDショップ大賞への協賛  
「第6回CDショップ大賞」（主催：全日本CDショップ店員組合）に協賛するとともに、店頭展開・広報展開の支援を行った。今回は、過去最高となるCDショップ店員1,003票の投票により受賞作が選出され、3月6日にZepp Tokyoで行われた授賞式の模様は主要なテレビ・ラジオ番組やウェブニュースなどで取り上げられた。また、主要販売チェーン店でコーナー展開を実施した。
- (4) ミュージック・ジャケット大賞の実施  
「第3回ミュージック・ジャケット大賞」は、会員社担当者による一次審査の後、一般投票により各賞を決定し9月18日に発表した。特設サイトでの投票のほか、ミュージックジャケットギャラリー（MJG）会場では候補作品の現物展示を行い、一般投票数は対前年382%の41,736名となった。各賞発表時、TV、新聞、ウェブニュースなどでパブリシティを獲得し

ており、また、店頭展開を行った大手CDショップチェーンでの対象タイトルの売上伸長率は展開期間において125%から150%となった。

#### 3. 「日本ゴールドディスク大賞」の実施

第28回となる今年度は、プレイベントとして「GOLD DISC FESTIVAL」を2月22日に渋谷公会堂で開催し、また「日本ゴールドディスク大賞」各賞は2月27日にプレスリリースで発表した。TV 15番組のほか、新聞各紙、Webサイトで多く取り上げられた。

#### 4. 日本音楽の海外展開の促進

- (1) 音楽産業・文化振興財団（PROMIC）主催「第10回東京国際ミュージックマーケット（TIMM）」（10月22日から24日開催）に参画した。昨年に続きTIFFCOM、TIAFとの合同マーケットとしての開催となり、3日間の延べ来場者数は過去最高の22,738名となった。
- (2) 今年度より日本音楽の情報発信のためのプロモーション事業「J-Music LAB」を、11月15日から1カ月間インドネシア・ジャカルタで実施し、約5,000人が来場した。現地で開催アーティストのテレビ・ラジオ番組への出演・雑誌取材などを獲得し、日本音楽認知向上に一定の効果があった。

5. 知的財産戦略本部が設置した「音楽産業の国際展開に関するタスクフォース」に参画した。「海外拠点の構築」、「海外市場の調査」など音楽産業が国際展開する上での7つの課題が示された。

#### 6. 大学寄附講座の開設

平成24年度に続き、横浜国立大学（経済学部対象）にて寄附講座「コンテンツビジネスと法」を開講した。秋学期の10月1日から2月4日まで全15コマの講義を実施、履修生は250名だった。なお、同校の学生による授業満足度評価では、本講座は3.57（4点満点・平均は3.29）と高い評価を受けた。平成23年度から続いた同大学への寄附講座は平成25年度で終了した。

## 7. RIAJセミナーの開催

会員社を対象に7回（①「新入社員合同研修会」、②「海外サブスクリプションビジネス：Spotifyの実例」、③「近時の人事労務における留意点について」、④「SNS行動やグループインタビューで探る！音楽コミュニケーションの実態」、⑤「RIAJ法務部業務について」、⑥「レコード会社の“未来”を語ろう～人気連載“未来は音楽が連れてくる”EXTRA」、⑦「2013年度音楽メディアユーザー実態調査報告会」）開催した。

## 8. その他

“Music J-CIS”（Music Japan-Copyright Information Service）の構成団体として活動を行った。音楽権利情報データベースを充実させるため、平成25年度発売新譜等の楽曲情報取り込みを実施した。その結果、平成25年度末時点での収録楽曲総件数は約443万件まで拡大した（前期末約423万件）。

### [2] レコード等に関する調査研究およびデータの収集

#### 1. 市場調査、産業統計の充実

音楽パッケージソフトの月別生産実績ならびに四半期毎の音楽配信売上実績を集計し公開した。なお、配信売上実績については、平成25年1月分より統計区分をデバイス別からサービス別に変更した。

#### 2. 音楽に関する消費者実態調査の実施

「2013年度音楽メディアユーザー実態調査」を実施し、ユーザーの音楽利用実態の推移や音楽消費の変化に関する定点観測のほか、エスノグラフィ調査を実施しユーザーの実像を深堀した。調査結果については会員社向け報告会を開催するとともに、一部を当協会ホームページ上で公開した。

#### 3. 私的違法ダウンロードに関する実態調査の実施

私的違法ダウンロードに関する3回目の調査を平成25年9月に実施した。法改正直前、半年経過後、一年経過後の計3回の調査結果を取りまとめ会員社へ報告するとともに、文化庁が平成26年3月に公表した「改正著作権法の施行状況等に関する調査研究報告書」でも本調査結果が取り上げられ、『改正法の施行が違法ダウンロードの抑止に大きく貢献した』ことを説明する根拠の一つとなった。

### [3] レコードを通じた音楽文化の保存に関すること

#### 1. 歴史的音盤のアーカイブ事業に関する研究

歴史的音盤アーカイブ推進協議会（HiRAC）を中心に進めてきたSP盤等の音源のデジタル化作業は平成21年から24年の4年間で約48,700音源を国立国会図書館へ納入完了しているが、平成25年度は納品音源のメタデータなどのメンテナンスを引き続き行った。また、10月開催の「オーディオ・ホームシアター展」にHiRACと共同で「古（いにしえ）の音を聴いてみよう」と題したブースを出展し、来場者に対して国立国会図書館へ納品した音源の

一部を聴取することができるウェブサイト「れきおん」の紹介を行った。

#### 2. 「文化庁芸術祭」への協力

「第67回文化庁芸術祭」のレコード部門申請窓口として55作品を参加申請し、参加が承認された34作品の中から芸術祭大賞1作品、優秀賞3作品が選出された。

#### 3. 「日本プロ音楽録音賞」の共催

優秀な音楽録音作品を選定し、その録音エンジニアを顕彰する「第19回日本プロ音楽録音賞」を、当協会と日本音楽スタジオ協会、日本ミキサー協会、日本オーディオ協会および演奏家権利処理合同機構MPNにより共催し、12月6日に授賞式を開催した。

### [4] 著作権および著作隣接権等の普及・啓発に関すること

#### 1. 違法音楽配信を撲滅するための対策の強化

- (1) 違法アップロード対策の専任組織として4月1日に設置した「著作権保護・促進センター（CPPC）」を中心に、動画共有サイト、ストレージサービス等に対する削除要請作業を強化した結果、年間の削除要請件数は約81万件と大幅に増加した（前年度約33万件）。
- (2) 削除要請への対応に問題があった中国の動画共有サイトなどについて、直接訪問や繰り返しの削除要請により、当協会の削除要請への対応はほぼ100%となった。
- (3) 平成23年8月に会員社など31社が原告となり東京地裁に提訴したミュージックゲート社（YouTubeからの動画ダウンロード支援サイト「TUBEFIRE」の運営会社）との訴訟に関して、当協会は会員社の訴訟関係実務を支援した。
- (4) リーチサイトからのリンク先となっている主要なストレージサイトに対して徹底した大規模な削除要請を実施したことにより、当該リーチサイトの実効性をなくすことに成功した。
- (5) スマートフォンを用いた違法音楽配信について、違法な音源や画源をリンクにより提供するアプリケーションの開発者・提供者などに対して、アプリ削除要請・リンク切除要請・ファイル削除要請・警告状送付を実施し、一部の悪質なアプリで提供停止などの成果をあげた。
- (6) 音楽ファイルの違法アップローダーや海賊盤の頒布者に対する告訴件数は23件であった（昨年実績20件）。
- (7) 「ファイル共有ソフトを悪用した著作権侵害対策協議会」（CCIF）が実施するプロバイダを通じた違法P2Pユーザーへの警告スキームの取組みを継続し、2,309件の啓発メールをプロバイダを通じて送付した。
- (8) ファイル共有ソフトを悪用した違法アップローダー48名について、プロバイダに対する発信者情報開示請求を実施、任意の開示を拒否された5名については、プロバイダに対し発信者情報開示請求訴訟を提起した。

#### 2. 違法音楽配信を撲滅するための法整備の推進

関係省庁に対し「私的違法ダウンロード罰則規定」施行

前後の違法音楽配信サービスの利用実態変化を表すデータを提示し、法改正が大きな抑止効果をもたらしていることを説明した。

### 3. 「私的違法ダウンロード罰則化」等の広報・啓発活動

関係権利者団体で構成する「STOP!違法ダウンロード広報委員会」が行う周知キャンペーンの一環として、①動画サイト・スマホサイトへのバナー広告を夏・冬期に実施し1億5,000万回以上表示、②夏フェス4カ所にブースを出展、来場者向けにエルマーク（適法配信識別マーク）認知拡大のためにノベルティを作成し累計4万部を配布し、また職場訪問で当協会や会員各社を訪れた修学旅行生などに約1万枚を配布、③音楽創造サイクルをテーマにした啓発映像の制作を行った（平成26年5月1日公開）。これら広報活動の成果として、平成26年3月に文化庁が公表した「改正著作権法の施行状況等に関する調査研究報告書」では、改正法の認知率が82.3%という高い数値を得た。

### 4. 著作権教育活動の実施

- (1) 中高生の会員社への職場訪問について平成25年度の受け入れ実績は、6,215名（前年度5,820名）となった。「私的違法ダウンロード罰則化」などの広報・啓発活動と連動し、エルマークリーフレットなどを使用し、中高生に対する「罰則化」周知に努めた。
- (2) 東京都立小山台高校で著作権啓発を目的とする出張授業を行い、約80名が受講した。
- (3) NTTドコモ主催「ケータイ安全教室」において、当協会の啓発リーフレット71万部を配布、また、KDDIが実施する「ケータイ教室」でも平成25年度から同リーフレットの配布が決定し、2万部を配布した。

### 5. 「レコード保護期間」の延長に向けた活動

「知的推進計画2013」策定やTPP交渉参加に伴う関係団体向け意見募集に対し、レコード保護期間延長を要望する意見書を提出した。

### 6. 「私的録音録画補償金制度」の見直しを求める活動

文化庁審議会著作権分科会内に新たに設置された「著作物の適切な保護と利用・流通に関するWT」に委員参加するとともに、他の権利者団体と協力し、関係省庁などに対して、権利者への対価還元施策の必要性について理解を得るための働きかけを行った。

### 7. レコードの業務上の利用から適正な対価が還元される制度創設に向けた活動

実演家団体と連携し、関係省庁などに対して制度創設の要望を行った。

## 【5】レコード等に関するデータの公表

### 1. 出版物の刊行

月刊機関誌「THE RECORD」を発行し、会員社、関係団体、官公庁、マスメディア、業界関係者などに配布した。

また、日本のレコード産業の年間統計資料集として「日本のレコード産業2014」を和文、英文で発行し、当協会ホームページ上でも公開した。

### 2. ホームページの運営

当協会の活動とさまざまなレコード産業に関する情報について幅広く提供し、タイムリーに更新した。

## 【6】レコード製作者に係る商業用レコードの二次使用料に関する権利行使の受任、金額の取り決めならびに徴収および分配

### 1. 二次使用料収入確保のための検討

- (1) 日本民間放送連盟との間で、平成25年度から27年度の地上波放送および平成25年度から28年度の無料系BS放送に係る二次使用料契約を締結した。
- (2) 日本放送協会とは、平成25年度以降の二次使用料契約について協議継続中である。
- (3) 有線音楽放送に係る二次使用料については、株式会社USENとの間で平成25年度単年度契約を締結した。
- (4) 衛星放送については、衛星放送協会との間で平成25年度単年度の二次使用料契約を締結した。
- (5) 二次使用料・複製使用料などの徴収額の合計は65億1,000万円（前年度比8.0%増）、権利者分配額は61億2,100万円（前年度比9.3%増）となった。

### 2. 二次使用料実績分配の運用改善

実績分配システムについて、平成24年度の実施結果を検証し、必要な改修を行った。

## 【7】レコードに関するレコード製作者の複製権、譲渡権および送信可能化権等ならびに実演家の送信可能化権等に関する権利行使の受任、金額の取り決めならびに徴収および分配

### 1. 放送番組のネット配信にかかる集中管理に関する取組み

- (1) テレビ局からの依頼を受けニュース映像の部分配信について検討した結果、集中管理で対応し使用料規程化を進めることとした。
- (2) 放送事業者との契約による元栓処理から、配信事業者との契約による蛇口処理への移行に取り組み、一部の事業者との協議を進めている。
- (3) 衛星テレビ放送のサイマル配信に係る使用料規程について、配信事業者団体と合意し、文化庁に届出を行った。

### 2. 集中管理事業の拡大推進

教育・文化系催事や冠婚葬祭におけるレコード利用に係る集中管理の取組みを開始した。

教育・文化系催事については「放送コンテスト」「バトントワリング大会」の2分野を手始めに集中管理を開始することとし、12月に使用料規程・管理委託契約約款の変更を文化庁に届け出て1月から集中管理を開始した。

冠婚葬祭のうちブライダルについては、コンテンツ制作会社の任意団体との間でマーケット情報の収集などを目的に

1年間の実証実験に着手することとし、実験開始に向けた関係諸団体との調整を継続している。

3. 放送番組の海外展開に係る原盤権処理効率化の取組み  
放送番組の海外展開促進に関する総務省検討会の取りまとめを受けて、放送局・レコード会社間で原盤権処理に関する実証実験協議会を設置し検討を行い、同協議会で決定した今年度暫定ルールに基づき12月から実証実験を開始した。年度末時点で、原盤調査・許諾確認が完了し販売可能となった番組数は22番組（43原盤が許諾済み）となった。

**[8] レコード製作者に係る商業用レコードの公衆への貸与に係る報酬などに関する権利行使の受任、金額の取り決めならびに徴収および分配**

徴収額は35億2,900万円（前年度比6.8%減）、権利者分配額は33億5,000万円（前年度比6.3%減）となった。

**[9] 私的録音録画補償金に関する指定管理団体の構成員としての業務ならびにレコード製作者に係る当該補償金の受領および分配**

1. 私的録音補償金  
私的録音補償金管理協会 (sarah) から5,400万円（前年度比27.0%減）を受領し、4,800万円（前年度比27.3%減）を権利者に分配した。
2. 私的録画補償金  
私的録画補償金管理協会 (SARVH) から200万円（前年度比86.7%減）を受領し、200万円（前年度比84.6%減）を権利者に分配した。

**[10] その他**

1. 政府の審議会等への委員派遣および経済団体への参画など  
文化審議会著作権分科会へ委員を派遣するなど、外部の会議体に積極的に参画し、意見の表明を行った。

2. 国内・国外の団体、機関との連携活動  
国内の音楽関係団体ならびに国際レコード産業連盟 (IFPI) およびアメリカレコード協会 (RIAA) など海外のレコード産業団体との連携と情報交換を実施した。
3. 「レコード倫理審査会」の開催・運営  
月次会議にて会員社から発売された全邦楽作品9,035点について審査を行った。
4. 業界規格 (RIS) の制定と改正  
日本レコード協会規格 (RIS) 504別冊「各種コード一覧表」(2014年3月版) を発行した。
5. “ISRC” (International Standard Recording Code) の管理機関としての活動  
登録者コードの新規発行件数73件（前年度94件）、個別コードの発行曲数は16,998曲（前年度16,927曲）であり、3月末の累計数は登録者コード1,662件、個別コード130,435曲となった。
6. 福祉・厚生施設へのレコード寄贈  
今年度（第51回）は、約8,500枚の音楽CDを福祉施設200カ所および東日本大震災被災地の臨時災害放送局12局と仮設住宅の集会所・老人クラブ・図書館へ寄贈した。
7. 会員社業務の集約化（シェアードサービス）  
(1) 平成24年に行った放送局向けオンライン・プロモーションの有効性を検証する実証実験について報告書を取りまとめた。また次回実証実験で検証する課題と実施内容の検討を行い、正会員社を対象に実証実験の説明会を実施した。なお、実証実験は来年度下期に実施予定。  
(2) 違法音楽アップロードの探索・削除要請にかかる会員社業務を集約化するため、「著作権保護・促進センター (CPPC)」を4月1日に設置し、各種違法対策の大幅な強化を実施した。

**運営体制**

平成25年度における当協会の運営体制は次の通りである。



特報

Special Report

# Music Jacket Gallery 2014 開催

～ジャパン・メイドな音楽パッケージの魅力!～



Music Jacket Promotion Committee 主催の「Music Jacket Gallery 2014」が、5月29日から6月3日の6日間、東京・新宿高島屋にて開催された。

第8回目を迎えた今回のテーマは、「ジャパン・メイドな音楽パッケージの魅力!」。アーティストの世界観と、日本のモノづくりの技術の結晶ともいえる豪華・特殊仕様のパッケージや、名盤 LP の雰囲気そのまま再現した紙ジャケット CD など、音楽の魅力を彩る音楽パッケージ・デザイン作品を約 500 点展示、6 日間で約 8,500 名が来場した。



オレンジと黒を基調とした会場。

## 豪華・特殊パッケージ (立体ジャケット) コレクション



ファン垂涎の意匠を凝らしたアイテム約 70 点が一堂に会した。

## 紙ジャケ 20 周年! ジャケット・アートの世界



1994 年に「ミニジャケット」として誕生以来、多数のファンを持つ紙ジャケット CD を、オリジナル LP レコードと比較展示。実際に紙ジャケットができるまでの製造工程も公開された。

## 試聴スペース「音楽のある生活～ Music Lifestyle」



自分の部屋でくつろぎながら音楽を聞いているかのように、実際にソファに座って、今なお再評価されるアナログレコードから最新のブルーレイディスク・オーディオまで、新旧のメディアが聴き比べできる空間。壁一面に飾られたミュージック・ジャケットが、ここではおしゃれなインテリアとしても存在感を発揮。

## 最新機器による音楽 Blu-ray Disc の上映



会場入口では、最新機器による音楽 Blu-ray Disc の上映が行われ、行き交う人々の注目を引き付けた。

## トークイベント「いつもレコードのことばかり考えている人のために。…それから。」



5月30日、音楽家の小西康陽氏、写真家の常盤響氏を招き、GROOVE 編集長・細川克明氏の進行により、トークイベントを実施した。小西氏、常盤氏の共著『いつもレコードのことばかり考えている人のために。』発行から6年経った現在、改めて両氏にレコードジャケットについて聞いてみたい、という思いから実現した。無類のレコード収集家である両氏が、持参したお気に入りのデザインのジャケットを片手にユーモアに溢れたエピソードを披露すると、時折観客からは笑い声が上がっていた。

# 「ミュージック・ジャケット大賞 2014」 一般投票実施 ～好きな音楽があるように、好きな音楽ジャケットもきっとある！



「ミュージック・ジャケット大賞 2014」では、二次審査となる一般投票を Music Jacket Gallery 2014 会場および特設ウェブサイトにて実施した。

## 現物を見ながら投票 (5/29 ~ 6/3)

Music Jacket Gallery 2014 会場では、一次審査を通過した全 50 作品を展示し、投票を受け付け



会場のセンターテーブルでは候補作品の現物商品を、キャプションとあわせて展示。来場者は商品を実際に手に取って、デザインをじっくりと眺め、投票することができた。



会場の中央に設置された投票箱

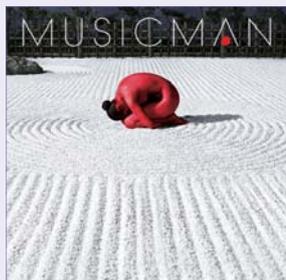


歴代受賞作品の展示も行われた。

## ウェブで投票 (5/28 ~ 7/4)

特設サイト (<http://mja.jp.com/>) では、一次審査を通過した全 50 作品を、作品情報とともに掲載し、投票を受け付け

## 歴代大賞受賞作品



2011  
MUSICMAN

桑田 佳祐  
ビクターエンタテインメント



2012  
もしもし原宿

きゃりーぱみゅぱみゅ  
ワーナーミュージック・ジャパン



2013  
Yun\*chi

Yun\*chi  
日本クラウン



多くの皆さまにご投票いただき、ありがとうございました。  
受賞作品の発表は 2014 年 8 月上旬を予定、結果をお楽しみに！

## 千代田区民講座 第8回音のサロン開催 今、うわさの高音質ハイレゾ音楽を楽しもう！

6月11日、東京都千代田区の日比谷図書文化館スタジオプラスにおいて、第8回音のサロンが開催された。「音のサロン」は、千代田区立日比谷図書文化館、一般社団法人日本オーディオ協会（JAS）および当協会が共催する「良質の音楽を良質の環境で体験する場の提供」を目的としたイベントである。

第8回を迎えた今回は『今、うわさの高音質ハイレゾ音楽を楽しもう！』をテーマに、オーディオ評論家の角田郁雄さんを講師に招き、開催された。

### キーワードは“豊かな倍音”

当日は強い雨が降る中にもかかわらず、会場はほぼ満席となった。まずは実際に鑑賞を行う前に、角田氏からハイレゾ音源の音の仕組みの説明が行われた。サンプリング周波数と量子化ビット数を、分かりやすく水の深さと透明度に例えた上で、鑑賞のポイントについて「ハイレゾのキーワードは豊かな倍音、だと覚えて下さい」と一言。

一曲目、パーカッションの加藤訓子氏の演奏が開始すると、先ほどのキーワードの意味が実感できた。続く Miles Davis 「Blue In Green」では、細く長いトランペットの音や、控えめに後方で鳴るシンバルの音も、それぞれがくっきりと聞き分けられた。さらに、ピアノの音はかなりまろやかに聞こえ、耳に心地よかった。

初心者が高音質環境を導入する上でまず悩むのが、どんな機器を選べばいいのかよく分からないということだ。そんな疑問に応えるべく、角田氏は機器の選び方や楽曲の購入の仕方までを、自身の体験を交えながらレクチャーした。現在は手持ちのパソコンをベースに、比較的手軽に環境を組むことも可能だと知って早速試してみたい。また、機器選びの際にはできるだけ楽器数が少ない曲で試聴するのがおすすめ、といったアドバイスもぜひ参考にしたい。

### 弦の音と人の声は、ハイレゾの得意分野

角田氏は、デジタル音源が苦手とする弦の音が、ハイレゾになると再現性がぐっと増すと言う。そのとおり、ヴィヴァルディのバイオリン協奏曲（演奏者:Giuliano Carmignola）では、まるでコンサートホールで聞いているような、奥行きのある音が響き渡った。また、現在はジャズやクラシックだけではなく、ポップスもハイレゾで聞けるラインナップが増えていることに触れ、宇多田ヒカル「First Love」や Sting 「The Last Ship」がセレクトされた。ハイレゾ音源ではボーカルの細かい息遣いまで、よりリアルに伝わってくるのが実感できた。

最後の一曲、Art Blakey & The Jazz Messengers の「A Night in Tunisia」では、唸るようなサクソとベース、激し

いドラムの音に、思わずリズムに乗って身体を動かす来場者も見られた。あらゆるジャンルの楽曲を聴き比べることで、来場者はハイレゾ音楽の持つ音の魅力を実感できた様子で、最後は和やかに拍手で締めくくられた。

なお、今回の第8回をもって、日比谷図書文化館での開催は終了となった。今後も日本オーディオ協会と当協会の協力の下、「良質の音楽を良質の環境で体験する場の提供」を行うべく、場所を変えて「音のサロン」を継続していく予定である。



### セットリスト（演奏者・歌手／作品名）

1. 加藤訓子 / FUR ALINA
2. Miles Davis / Blue in Green (Kind Of Blue)
3. Giuliano Carmignola / ヴィヴァルディ協奏曲 木短調 RV281 第1楽章
4. 宇多田ヒカル / First Love
5. Hoff Ensemble / Stille, stille kommer vi
6. Herbie Hancock / Maiden Voyage
7. Cannonball Adderley / Somethin' Else
8. ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 / シューマン交響曲 第1番「春」第1楽章
9. Sting / The Last Ship
10. オスロ室内合唱団 / STRID
11. Art Blakey & The Jazz Messengers / A Night in Tunisia

### 使用機器／メーカー（型番）

ネットワークプレーヤー / YAMAHA (NP-S2000)  
NAS / DELA (N1A)、BUFFALO (LS421D)  
LAN ケーブル / DELA (C1AE)  
USB DAC / TEAC (UD-501)  
プリメインアンプ / Accuphase (E-600)  
スピーカー / FOSTEX (GX250MG)  
クリーン電源 / Accuphase (PS-1220)  
電源ボックス / KRIPTON (PB-HR1000、PC-HR1000)  
ラック / YAMAHA (GT ラック)

## 「第11回東京国際ミュージックマーケット」開催



第11回となる「東京国際ミュージックマーケット (TIMM)」の開催が決定した。昨年に引き続き、今年度もコンテンツの垣根を越えた国際見本市「Japan Content Showcase」として、音楽のTIMM、東京国際映画祭 (TIFF) 併設マーケットの「TIFFCOM」、アニメーションを中心としたマーケット「東京国際アニメ祭 (TIAF)」が統合開催される。

### 「第11回東京国際ミュージックマーケット」開催概要

- ◆ 日程：2014年10月21日(火)～23日(木)
- ◆ 会場：ホテルグランパシフィック LE DAIBA (東京都港区台場2-6-1)  
Zepp DiverCity TOKYO (東京都江東区青海 1-1-10 ダイバーシティ東京プラザ)
- ◆ スケジュール(予定)

10月21日(火) ● 個別商談会 @ホテル グランパシフィック LE DAIBA  
● ビジネスセミナー @ホテル グランパシフィック LE DAIBA  
● ショーケースライブ @ホテル グランパシフィック LE DAIBA  
@Zepp DiverCity TOKYO

10月22日(水) ● 個別商談会 @ホテル グランパシフィック LE DAIBA  
● ビジネスセミナー @ホテル グランパシフィック LE DAIBA  
● ショーケースライブ @ホテル グランパシフィック LE DAIBA  
@Zepp DiverCity TOKYO

10月23日(木) ● 個別商談会 @ホテル グランパシフィック LE DAIBA  
● ビジネスセミナー @ホテル グランパシフィック LE DAIBA

#### ★TIMMへの出展をご希望の方

出典申込(予約)開始日時：6月23日(月)10:00～

受付窓口：一般財団法人音楽産業・文化振興財団 (PROMIC) TIMM事務局

【お問合せ先】

PROMIC TIMM事務局 TEL:03-3560-9881/FAX:03-3560-9882

#### ◆ 「Japan Content Showcase」として同会場で行う他マーケット

- 「TIFFCOM 2014」 Content Market at Tokyo International Film Festival
  - 「東京国際アニメ祭」 Tokyo International Anime Festival
- 来場対象者：音楽、映画、テレビ、アニメーション、出版などのコンテンツバイヤー、コンテンツ取引関係者

## 「知的財産推進計画 2014」の策定に関する意見書を提出

4月28日から5月16日にかけて、知的財産戦略本部により実施された「知的財産推進計画 2014」の策定に関する意見募集に対し、当協会の意見書を提出したので、以下にその概要を紹介する。

### 1. インターネット上のコンテンツ侵害対策

(1) 違法配信の利用を助長するサービスまたはツール提供に対する効果的な施策の検討

違法配信からのダウンロードを支援するサービスおよびツール提供、利用者を侵害コンテンツへ誘導するサービスおよびツール提供などの実態を把握した上で、これらを効果的に規制するための施策を早急に検討・実施すべきである。

(2) 権利者とプロバイダの協力による侵害情報の送信防止措置

政府は、諸外国における施策の効果を適切に見極めながら、関係者による実効性のある送信防止措置の実施に必要な制度上の措置を継続して検討すべきである。

### 2. 著作権侵害に関する普及啓発活動の強化

(1) 若年層への著作権教育の充実

関係省庁は、初等・中等教育に十分な著作権教育を盛り込むなど、若年層への著作権教育の充実に一層取り組むべきである。

### 3. 著作権制度上の課題の総合的な検討

(1) 「クラウドサービスと著作権」および「クリエイターへの適切な対価還元」について

クラウドサービスについては契約で対応し得る可能性を踏まえ、私的使用目的に関連する権利制限規定の見直しは慎重に検討されるべきである。また、クリエイターへの適切な対価還元については、実態調査の結果および Culture First 推進団体からの提言を踏まえ、新しい権利保護の仕組みの構築を図るべきである。

(2) レコード保護期間の延長

国際的には権利者に50年を超える法的保護を与えることが既に潮流となっている状況に照らし、コンテンツ立国を標榜する我が国においても、著作権隣接権の保護期間を延長するべきである。

(3) 「法定損害賠償制度」の創設

被害者が権利侵害の事実を立証した場合には、具体的損害額を立証しなくても、一定の法定額を損害賠償額として請求することができる制度を創設すべきである。

(4) 商業用レコードの業務上の利用からレコード製作者へ適正な対価が還元される制度の創設

公衆に聴かせるための商業用レコードの業務上の利用については、既に世界125カ国において、レコード製作者・実演家に報酬請求権ないし許諾権が付与され、適正な対価が還元されている。我が国においても、権利保護の国際的調和を図るべきである。

#### ● 意見募集の結果について（知的財産戦略本部ホームページ）

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/ikenbosyu/2014keikaku/kekka.html>

（当協会の意見は「法人・団体からの意見」p41からp43に掲載）

## ACA「第3回著作権を守ろう！ポスターコンクール」作品募集を開始

当協会が加盟する不正商品対策協議会（ACA）は、11月9日（日）に東京で開催される啓発イベント「ほんと？ ホント！フェア in 東京」の一環事業として、全国の小・中学生から著作権保護をテーマとした啓発ポスターコンクールの作品募集を開始した。

著作権をはじめとする知的財産権の侵害は、いまや国際的な問題の一つとなっており、侵害の防止には小・中学生といった若年層から、権利保護に対する認識を持つことが重要となる。本コンクールは、ポスター制作を通じて若年層に著作権に対する保護意識を高めてもらうことを目的として、2012年より実施されており、今回が第3回となる。

最優秀賞作品および優秀賞作品の入選者については、11月9日（日）に東京（会場：ベルサール秋葉原）で開催されるACA主催の啓発イベント「ほんと？ ホント！フェア in 東京」において、当日、偽ブランド・海賊版撲滅キャンペーン隊長を務めるタレントから、表彰と記念品の贈呈が行われる予定。

募集要項など、詳細はACAホームページ（<http://www.aca.gr.jp/>）を参照。



昨年度最優秀賞作品ポスター  
（山口県 田布施中学校1年・  
吉原りかさんの作品）

多くの人を魅了したヒット曲は、どのように世に送り出されたのか。音楽人の苦闘が織り込まれた『ヒットの裏側』をリレー形式でひも解いていく。

川中美幸「二輪草」

## お茶の間に届けたかった、可憐で清楚な歌

株式会社テイチクエンタテインメント プロデューサー（株式会社千賀オフィス 代表取締役）

千賀 泰洋（せんが・たいよう）氏

ヒット当時の役職：株式会社テイチクエンタテインメント・ディレクター



### ❁ “花”をテーマにアルバムづくり ～歌づくりの基本は「ちゃぶ台に歌がある」こと

川中美幸さんは、私が大阪でスカウトして以来、当初15年間担当させていただきました。「ふたり酒」をはじめヒットに恵まれたいい時期を経て、15年目（1988年）の頃はNHK紅白歌合戦にも出られず、ヒットも枯れていました。私はその年を境に担当を外れ、数年間は彼女の様子を外から、忸怩たる思いで見るとなりました。彼女自身、個人事務所を運営するなど、心労も多かったと思います。その後、川中さんは事務所を変わり、私も有り難いことに再び担当を任されることになりました。

何としても川中美幸の再起を果たしたい。そう決意していた私は、ひと勝負かけようと、温めていた企画を打ち出しました。それは“花”をテーマに据えたアルバムを作ることでした。私の歌づくりの基本は「ちゃぶ台に歌がある」こと。家族がお茶の間で一緒に楽しめる歌を作りたいという思いで、いつも取り組んできました。一方、川中さんは歌ばかりではなく、話も上手で、明るく活発なイメージがあります。でもそればかりではありません。清楚で可憐な花のような雰囲気をお持ちです。あまり知られていないその姿を、お茶の間の皆様にご存知いただきたいと考えたのです。

### ❁ 「二輪草」が花を咲かせ、川中さんの心も開く

アルバムタイトルは、日本の四季を意識して「四季彩花」とし、1月から12月まで一曲ずつ季節に合った花を選び、12曲の構成としました。作詞は、花の歌に定評のある水木かおる先生に、また作曲は演歌界のモーツァルトこと、弦 哲也先生にお願いしました。

各月を彩る花は、一般にはあまり知られていないけれども、可憐さの際立つものを丁寧に選びました。10月の吾亦紅、5月の君影草（スズランの異名）といった花のなかに、私がどうしても加えたかったのが、4月の「二輪草」です。山歩き好きな私は、中央アルプスで見た二輪草の控えめで可憐な姿に惹きつけられました。二つの花が愛らしく寄り添う姿は、夫婦そのもの。そして、この花にふさわしい、さわやかな夫婦の歌「二輪草」ができました。そのとき私は「ふたり酒」に連なる、川中美幸の代表的なヒット曲になる予感を覚えました。

社内会議での猛プッシュを経て、「二輪草」はシングルで売り出すことになりました。ところが川中さんご自身が、なかなか乗り気にならないのが悩みの種でした。当時の川中さんは「また夫婦の歌？」という気持ちが強くポップス系の曲を歌いたいという心情もあり、また、歌というよりは得意な芝居に打ち込んでいた時期でもありました。アルバムレコーディングでも「二輪草」は後ろに回され、とうとう最後になり、相当やきもきました。1997年11月末のことです。

翌1998年1月1日をシングル発売日と定め、歌番組などを通じて展開を図ると、私の予感どおりすぐに反響がありました。イニシャルオーダーは年末だけでなく、会社始動日の1月5日には、その日だけでオーダーが5千枚。大騒ぎになっていきます。そして迎えた5月。縁日の21日、たくさんの人でにぎわう西新井大師でキャンペーンを行いました。川中美幸さんが来ているということで、すぐに大きな行列となり、社員総出で対応し2,800枚ものシングルが売れ、川中さんご本人はその一人ひとりと握手されました。あの熱気は忘れられません。レコーディング時は乗り気でなかった川中さんも、その頃には手ごたえを感じ、歌の世界でリーダーシップを取ってほしいという強い気持ちを取り戻していました。次々に積極的な展開が増えていき、念願の紅白出場も果たしました。

### ❁ 魂のこもった歌

何もかも歯車がうまく回った感じでした。その年の歌会始で、秋篠宮紀子様が二輪草の歌を詠まれたことも、偶然ですが運命のようなものを感じました。それは水木先生が知らせてくださいました。水木先生はアルバムが完成した翌年に他界されました。奥様は川中美幸さんのライブ会場に、遺影を持って何度も足を運ばれ、こう話されました。「主人も一緒に観ています」。私は「二輪草」には水木先生をはじめ、関わった多くの人の魂がこもっていると思っています。アイデアを絞り出して工夫を凝らし、この歌を届けられたことは、ディレクター冥利に尽きますね。演歌は古いと言われますが、日本人の魂の底にある深い思いを表現しています。これからもそれを追い求めていきますよ。演歌は無窮ですね。（談）



二輪草の花  
（写真提供：千賀泰洋氏）

#### 作品データ

- 川中美幸「二輪草」 ○平成10（1998）年発売 ○テイチクエンタテインメント
- 作詞：水木かおる ○作曲：弦 哲也

# Monthly Production Report

## 2014年5月度レコード生産実績

5月度の音楽ソフト（オーディオレコード・音楽ビデオの合計）生産実績は、数量で前年同月比100%の2,093万枚・巻、金額で同117%の232億円となった。内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比94%の1,578万枚・巻、金額で同107%の163億円。音楽ビデオが、数量で前年同月比124%の515万枚・巻、金額で同150%の69億円となっている。

### ● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

			5月実績						2014年1月～2014年5月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比
シ	8cmCD	邦	1	0	49%	1	0	46%	8	0	55%	5	0	54%
		洋	0	0	-	0	0	-	0	0	2%	0	0	4%
		計	1	0	49%	1	0	46%	8	0	54%	5	0	54%
ン	12cmCD	邦	5,665	36	71%	3,842	24	83%	22,554	32	89%	16,555	21	98%
		洋	88	1	49%	11	0	7%	264	0	76%	82	0	30%
		計	5,753	36	71%	3,853	24	81%	22,818	32	89%	16,637	22	97%
グ	小計	邦	5,666	36	71%	3,843	24	83%	22,562	32	89%	16,560	21	98%
		洋	88	1	49%	11	0	7%	264	0	76%	82	0	30%
		計	5,754	36	71%	3,853	24	81%	22,826	32	89%	16,643	22	97%
ル	12cmCD アルバム	邦	5,949	38	100%	8,144	50	100%	33,772	47	87%	46,940	61	100%
		洋	3,915	25	152%	4,107	25	186%	13,882	19	115%	12,829	17	119%
		計	9,864	63	116%	12,251	75	119%	47,654	67	94%	59,768	77	104%
CD 合計	邦	11,615	74	84%	11,987	74	94%	56,334	79	88%	63,500	82	100%	
	洋	4,003	25	145%	4,118	25	174%	14,146	20	114%	12,911	17	117%	
	計	15,618	99	94%	16,104	99	107%	70,480	99	92%	76,411	99	102%	
アナログ ディスク	邦	30	0	935%	48	0	568%	64	0	163%	123	0	220%	
	洋	12	0	110%	18	0	136%	46	0	91%	60	0	81%	
	計	42	0	293%	66	0	306%	110	0	123%	183	0	141%	
カセット テープ	邦	81	1	72%	70	0	73%	496	1	75%	402	1	78%	
	洋	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	
	計	81	1	72%	70	0	73%	496	1	75%	403	1	78%	
その他	邦	24	0	183%	29	0	135%	112	0	176%	144	0	157%	
	洋	11	0	71%	24	0	73%	91	0	80%	200	0	89%	
	計	35	0	122%	53	0	97%	202	0	114%	344	0	109%	
合計	邦	11,749	74	84%	12,134	74	94%	57,005	80	88%	64,169	83	100%	
	洋	4,027	26	145%	4,160	26	172%	14,283	20	114%	13,171	17	116%	
	計	15,776	100	94%	16,294	100	107%	71,288	100	92%	77,341	100	102%	

### ● 音楽ビデオ

			5月実績						2014年1月～2014年5月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比
DVD	邦	4,350	84	127%	5,141	75	165%	19,571	84	93%	22,617	71	93%	
	洋	179	3	65%	197	3	79%	738	3	80%	884	3	91%	
	計	4,529	88	122%	5,338	78	158%	20,309	87	92%	23,502	74	93%	
Blu-ray Disc	邦	605	12	132%	1,498	22	129%	2,858	12	151%	8,162	26	129%	
	洋	15	0	113%	36	1	79%	75	0	74%	205	1	77%	
	計	619	12	131%	1,534	22	127%	2,932	13	147%	8,367	26	127%	
テープ・その他	邦	1	0	596%	1	0	559%	1	0	59%	2	0	61%	
合計	邦	4,955	96	128%	6,639	97	155%	22,430	97	98%	30,782	97	101%	
	洋	194	4	67%	234	3	79%	813	3	79%	1,089	3	88%	
	計	5,149	100	124%	6,873	100	150%	23,242	100	97%	31,871	100	100%	

### ● 音楽ソフト（オーディオ/音楽ビデオ合計）

			5月実績						2014年1月～2014年5月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比
オーディオ			15,776	75	94%	16,294	70	107%	71,288	75	92%	77,341	71	102%
音楽ビデオ			5,149	25	124%	6,873	30	150%	23,242	25	97%	31,871	29	100%
合計	邦		16,704	80	93%	18,773	81	110%	79,435	84	91%	94,951	87	100%
	洋		4,221	20	137%	4,393	19	162%	15,096	16	111%	14,260	13	113%
	計		20,925	100	100%	23,167	100	117%	94,531	100	93%	109,211	100	102%

### ● ビデオ（含音楽ビデオ）

			5月実績						2014年1月～2014年5月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比
DVD			6,383	83	108%	8,750	69	125%	34,024	79	90%	51,457	69	93%
テープ・その他			1,330	17	118%	4,024	31	112%	8,887	21	106%	23,493	31	89%
合計			7,713	100	110%	12,774	100	121%	42,912	100	93%	74,950	100	92%

### ● オーディオ/ビデオ合計

			5月実績						2014年1月～2014年5月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比
オーディオ			15,776	67	94%	16,294	56	107%	71,288	62	92%	77,341	51	102%
ビデオ			7,713	33	110%	12,774	44	121%	42,912	38	93%	74,950	49	92%
合計			23,489	100	99%	29,068	100	112%	114,200	100	93%	152,290	100	97%

備考 1.本年実績は、会員会社の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む  
2.単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある  
※オーディオレコードのその他は SACD、DVD オーディオ、DVD ミュージック、MD の合計

**音楽ソフト**
**邦楽**
**アルバム**
**● プラチナ**

Neo SOUND BEST	UVERworld	2009.12.09	SML
Heartful Song Covers	May J.	2014.03.26	AMI

**● ゴールド**

泡のような愛だった	aiko	2014.05.28	PC
薔薇架刑	ALI PROJECT	2007.04.04	LTS
Singing Bird	稲葉 浩志	2014.05.21	BG
EXIT TUNES PRESENTS Vocalodream feat. 初音ミク	V.A.	2012.01.18	EXT

**シングル**
**● 2ミリオン**

ラブラドル・レトリバー	AKB48	2014.05.21	K
-------------	-------	------------	---

**● ダブル・プラチナ**

誰も知らない	嵐	2014.05.28	JA
--------	---	------------	----

**● ゴールド**

ゲラゲラポーのうた	キング・クリームソーダ	2014.04.30	AMI
King & Queen & Joker	Sexy Zone	2014.05.14	PC
タカラモノズ / Paradise Live	μ's	2014.01.29	LTS
泣いてもいいんだよ	ももいろクローバーZ	2014.05.08	K

**ビデオ**
**● ダブル・プラチナ**

アラフェス'13	嵐	2014.05.21	JA
----------	---	------------	----

**洋楽**
**アルバム**
**● トリプル・プラチナ**

アナと雪の女王 オリジナル・サウンドトラック	V.A.	2014.03.12	AMI
------------------------	------	------------	-----

**● ゴールド**

ガール	ファレル・ウィリアムス	2014.04.30	SML
NEW	ポール・マッカートニー	2013.10.14	UM

※日付は発売日

**認定基準一覧**

音楽ソフト(邦・洋、アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信(着うた⑧、シングルトラック、アルバム) 共通

名称	略号	基準
ゴールド	G	10万以上
プラチナ	P	25万以上
ダブル・プラチナ	PP	50万以上
トリプル・プラチナ	PPP	75万以上
ミリオン	M	100万以上
2ミリオン	2M	200万以上
3ミリオン	3M	300万以上
以降、100万ごとに賞を設定		

基準単位: 音楽ソフト・枚、配信・DL(ダウンロード)

※着うた⑧のみダブル・プラチナ以上を顕彰

※ AMI: エイベックス・マーケティング / BG: ビーイング / EXT: エグジットチューンズ / JA: ジェイ・ストーム / K: キングレコード / LTS: ランティス / PC: ポニーキャニオン / SML: ソニー・ミュージックレーベルズ / UM: ユニバーサルミュージック / V: ビクターエンタテインメント

**有料音楽配信**

2014年1月度からの認定区分変更に伴い、当月は61作品を認定。

 本号では、ミリオン、トリプル・プラチナ、ダブル・プラチナ、プラチナ認定の16作品のみを掲載。その他45作品の詳細は当協会HP(<http://www.riaj.or.jp/data/others/chart/w140620.html>)を参照のこと。

**「シングルトラック」**
**邦楽**
**● ミリオン**

YELL	いきものがかり	2009.09.23	SML
奏(かなで)	スキマスイッチ	2006.01.19	SML
魂のルフラン	高橋 洋子	2007.07.11	K

**● トリプル・プラチナ**

レット・イット・ゴー ～ありのままに～(日本語版)	松 たか子	2014.03.19	AMI
------------------------------	-------	------------	-----

**● ダブル・プラチナ**

月光	鬼束 ちひろ	2004.12.08	UM
Best Friend	Kiroro	2001.06.06	V
紅蓮の弓矢	Linked Horizon	2013.07.10	PC

**● プラチナ**

ふいに	板野 友美	2011.07.06	K
Dear...	CLIFF EDGE / MAY'S	2007.11.14	K
さよなら	西野 カナ	2013.10.23	SML
アイ	秦 基博	2010.01.13	SML
花束	back number	2011.06.15	UM
ETERNAL BLAZE	水樹 奈々	2006.06.14	K
MASSIVE WONDERS	水樹 奈々	2009.12.30	K

**洋楽**
**● プラチナ**

レット・イット・ゴー	イディナ・メンゼル	2014.02.26	AMI
アイ・ガッタ・フィーリング	ブラック・アイド・ピーズ	2009.06.03	UM

※日付は配信開始日

## 協会からのお知らせ

一般財団法人音楽産業・文化振興財団 (PROMIC) では、日本アーティストを幅広く海外に紹介



するための情報発信拠点として、ポータル・サイト「PROMIC.TV」を公開しています。同サイト上では、YouTubeのチャンネルを通じ、英語圏向けの音楽情報番組「J-POP NEWS」を制作し、発信しています。また、海外でライブやプロモーション活動を行う日本アーティストの情報を紹介し、現地における活動のバックアップを行っています。

先月号でお伝えしたイギリス・ブライトンで開催された音楽見本市「The Great Escape」でのアーティストのパフォーマンスの様様もご覧いただけます。ぜひ、ご注目ください。

PROMIC.TV (<http://promic.tv/>)



エルマーキャラクター  
エルマーくん

**THE RECORD No.656 2014年7月号**  
一般社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 斉藤 正明  
編集人 田口 幸太郎  
発行日 2014年7月10日  
発行 一般社団法人 日本レコード協会  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館9F  
TEL. 03-5575-1301 (代) FAX. 03-5575-1313  
URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフピーアイ・コミュニケーションズ

### 編集後記

サッカー W杯ブラジル大会が盛り上がる中、代表経験者を含む多数の日本人選手たちが、タイのサッカーリーグで活躍しているとのニュースを知りました。2009年には4人ほどだった渡航選手が今や60人超、約15倍の増です。タイはFIFAランク143位、W杯出場経験もまだない国。もう一花咲かせたいベテランや、海外で修業したい若手にとって、タイのハングリーな環境は格好の挑戦の場となっているそうです。

先日、世界で最も権威のあるパレエ賞の一つ、プロワ賞を日本人で初めて受賞した木田真理子さんが、これまでの道のりについて「自分の挑戦を見てくれた人々との、出会いに導かれた」と仰っていました。国を越え時代を越え人々の心をつかむパフォーマンスは、こうしたひたむきな挑戦から生まれるのだと改めて感じます。(M)